

【カタクリの咲く山道: 御神坂コース】



カタクリを踏まずに歩くには神経を使う

【登山道等の状況】



御神坂登山口(標高約610m)



作業道を行く(標高約680m)



国立公園界の「切接(きりはぎ)」(標高約870m、1合目候補地点)



「切接」付近、登山道両脇を飾るカタクリ

〔メモ〕

- ・ 今回の調査主眼は、次の4点であった。
 - ① 御神坂コースのカタクリ群落開花状況確認
 - ② 登山道の残雪状況や危険箇所の有無等確認
 - ③ 避難小屋等の状況確認
 - ④ 御神坂コースの位置標示(合目標柱等設置)の場合の候補地点の検討
- ・ カタクリ群落の開花状況については、標高約870mの「切接(きりはぎ)」付近で開花最盛期。カタクリは標高約1,250mの「大滝展望所」付近まで登山道脇に分布しており、順次開花していくので、連休明けでも十分楽しめると思われる。
- ・ 登山道沿いの残雪区間は両コースともにあるが、柳沢コース7合目直下や5合目直上部には急斜面の雪渓が残っているので、滑落防止に注意が必要。
- ・ 九合目不動平避難小屋は夏季出入口が利用可能。八合目避難小屋も利用可能であるが、管理人はまだ常駐していない。
 - トイレは不動平小屋及び八合目小屋内のトイレが利用可能。両登山口のトイレも利用可能。
 - 八合目小屋前の御成清水は出していない。
- ・ 御神坂コースの位置を特定するための標柱(合目)の設置については、候補地点を現地検討した。今後、その必要性、可能性も含めて具体的に検討することとしたい。



草鞋脱ぎ場 (標高約1,050m、2合目候補地点)



新雪が装う (標高約1,180m)



「大滝展望所」直下の残雪



「大滝展望所」から秋田駒ヶ岳を遠望



大滝展望所にて (標高約1,250m、4合目候補地点)



「大滝展望所」から大滝を遠望



大滝は氷結していた



大滝展望所から上部は残雪に覆われる



土砂に埋まる石の鳥居 (標高約1,360m、5合目候補地点)



同左付近 (標高約1,360m)



ガレ場を登る(標高約1,400m付近)



「笠締」(標高約1,550m、6合目候補地点)



消えた文字を書き込む
自然公園保護管理員、
山岳ガイドの米澤氏



登山道肩部崩落箇所(標高約1,570m付近)
固定ロープは冬季撤収中



標高約1,700m付近(7合目候補地点)



同左(7合目候補地点)
眺望抜群、眼下に雲海が広がる



標高約1,800m付近(8合目候補地点)



鬼ヶ城分岐(標高約1,875m)



鬼ヶ城分岐から山頂お鉢方向



鬼ヶ城分岐付近から
八合目小屋方向を眺める
遠くに姫神山と北上山系の
山並みが雲海に浮かぶ



鬼ヶ城分岐付近から不動平小屋と山頂方向



雪に埋まる不動平小屋



不動平から小屋へ



小屋前でスケッチ中の広野「画伯」
ほんの数分だったが、
この余裕！素晴らしい



お鉢の石像にエビノシツポも



不動平小屋前、前週より残雪は減っていない



お鉢から不動平を俯瞰



お鉢から鬼ヶ城と秋田駒ヶ岳遠望



岩手山頂祠も雪に埋まる



下山開始 八合目小屋へ向かう



山頂で周囲の山々を説明、米澤氏



八合目小屋付近



5合目直上部急斜面雪渓を下る
工藤ARと先導の山岳ガイド米澤氏



山頂での記念撮影